



## 平成20年2月期 第1四半期財務・業績の概況(非連結)

平成19年6月26日

上場会社名 **ポケットカード株式会社**

コード番号: 8519

代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 都筑 誠

問合せ先責任者(役職名) 経 理 部 長 (氏名) 池田 一彦

上場取引所 東証・大証第1部

URL <http://www.pocketcard.co.jp/>

TEL (03) 5441-1924

(注) 記載金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

### 1. 平成20年2月期 第1四半期財務・業績概況(平成19年3月1日～平成19年5月31日)

#### (1) 経営成績の進捗状況

(注) パーセント表示は、対前年同四半期比(前期比)増減率を表示しております。

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年2月期第1四半期	10,105	6.7	1,581	△31.3	1,576	△31.4	920	△30.0
19年2月期第1四半期	9,471	9.0	2,302	7.2	2,299	7.7	1,314	69.0
19年2月期	38,829	8.2	6,383	△23.4	6,377	△23.4	1,248	△72.2

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年2月期第1四半期	15	55	—	—
19年2月期第1四半期	21	88	—	—
19年2月期	20	98	—	—

#### (2) 財政状態の変動状況

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
20年2月期第1四半期	210,295	49,839	210,295	49,839	23.7	841	85	
19年2月期第1四半期	187,449	50,728	187,449	50,728	27.1	851	04	
19年2月期	203,678	49,414	203,678	49,414	24.3	834	68	

#### 【キャッシュ・フローの状況】

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
20年2月期第1四半期	△1,807	△702	3,059	15,826				
19年2月期第1四半期	△12,010	△216	9,914	9,755				
19年2月期	△22,137	△2,190	27,540	15,277				

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金
(基準日)	第1四半期末
	円 銭
20年2月期第1四半期	—
19年2月期第1四半期	—

## 3. その他

- (1) 会計処理方法における簡便な方法の採用の有無 :有 (内容) 法人税等の計算
- (2) 会計処理の方法の最近会計年度における方法との相違の有無 :無

## 【経営成績の進捗状況に関する定性的情報等】

平成20年2月期第1四半期の業績は、割賦購入あっせん部門及び融資部門が順調に推移した結果、営業収益は101億5百万円（前年同期比6.7%増）となりましたが、一方で昨今の利息返還請求の増加等に伴い営業費用が増加し、営業利益15億81百万円（前年同期比31.3%減）経常利益15億76百万円（前年同期比31.4%減）、四半期純利益9億20百万円（前年同期比30.0%減）となりました。

割賦購入あっせん部門につきましては、各種キャンペーン企画の実施やカード認知度の向上等により取扱高が572億67百万円（前年同期比17.0%増）と拡大したことに加え、ショッピングリボへの積極的な取り組みによりリボルビング残高が増加したことで、営業収益は13億59百万円（前年同期比23.8%増）となりました。

融資部門につきましては、会員一人ひとりの信用度に応じた機動的な与信枠の設定などを実施した結果、債権流動化分を含む融資残高は1,400億9百万円（前年同期比3.0%増）と伸長し、営業収益は80億91百万円（前年同期比4.5%増）となりました。

営業費用については、効率的な会員募集の実施によるカード募集費用の削減や、新システムへの移行に伴う情報処理費用の減少等コスト削減に努めましたが、昨今の利息返還請求の増加に伴う関連費用の増加により、85億24百万円（前年同期比18.9%増）となりました。

以上の結果、営業利益は15億81百万円（前年同期比31.3%減）、経常利益は15億76百万円（前年同期比31.4%減）、四半期純利益は9億20百万円（前年同期比30.0%減）となりました。

会員サービスの拡充については、より高い利便性の提供を目的としてゴールドカード特典の見直しを実施したことや、ポイントプログラムで交換いただける商品・サービスを大幅に拡充したこと、インターネット上でお客様が安心してカードをご利用いただけるようセキュリティ強化の観点から本人認証サービス（3Dセキュア）を導入するなど、お客様満足度向上の為の新たな取り組みを実施しております。

また、新たな事業展開とお客様への高度で多様なサービスを提供するために、基幹システムを刷新し、新基幹システム「P-s y s（ピース）」の稼働を開始しました。「P-s y s」は、オープンプラットフォーム上で稼働するシステムであり、当社の経営戦略をシステム上で実現することができるよう、高い拡張性・柔軟性を持っているのが特徴です。今後は、この新システムを活用し、今期の経営スローガンである「ビジネスモデル変革への挑戦とサービス品質の向上」を実現してまいります。

## 【財政状態の変動状況に関する定性的情報等】

### （1）資金調達の状況

資金調達においては、安定的かつ効率的な調達を基本方針としております。

当第1四半期におきましては、コミットメントライン及び当座貸越枠計45億円の設定などにより、資金調達の安定化を図っております。

### （2）キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末の現金及び現金同等物は前事業年度末に比べ、5億49百万円増加し、158億26百万円となりました。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期の営業活動による資金の減少は、18億7百万円となりました。

これは主に、税引前四半期純利益が15億70百万円、仕入債務の増加が33億39百万円となった一方で、営

業貸付金及び割賦売掛金の増加がそれぞれ48億34百万円及び16億円となったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期の投資活動による資金の減少は、7億2百万円となりました。

これは主に、システムの開発に伴う固定資産の取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期の財務活動による資金の増加は、30億59百万円となりました。

これは主に、営業貸付金及び割賦売掛金の増加等に対応するため、コマーシャルペーパー等による純調達額が35億62百万円となったものの、配当金の支払による支出が5億3百万円となったことによるものです。

### 【業績予想に関する定性的情報等】

当第1四半期の業績は、前回公表(平成19年4月9日)の通期の業績予想に対して順調に推移しており、当該業績予想に変更はありません。

※ 上記に記載した予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により、上記予想と異なる場合があります。

【添付資料】

1. (要約)四半期貸借対照表

科 目	前第1四半期 平成18年5月31日現在	当第1四半期 平成19年5月31日現在	前事業年度の 要約貸借対照表 平成19年2月28日現在
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)
<b>( 資 産 の 部 )</b>			
<b>I 流 動 資 産</b>	179,353	201,830	194,237
現金及び預金	9,755	15,826	15,277
割賦売掛金	41,643	50,905	46,071
営業貸付金	125,942	137,164	135,563
未収入金	3,503	4,286	3,688
その他の	5,638	6,578	5,812
貸倒引当金	△7,131	△12,931	△12,176
<b>II 固 定 資 産</b>	8,096	8,464	9,441
<b>有形固定資産</b>	406	516	528
建物	113	170	160
器具及び備品	292	345	367
<b>無形固定資産</b>	2,392	4,518	4,581
ソフトウェア	1,377	4,444	4,461
その他の	1,015	73	119
<b>投資その他の資産</b>	5,297	3,430	4,331
投資有価証券	2,432	633	620
差入保証金	2,488	1,134	2,076
その他の	396	1,681	1,653
貸倒引当金	△19	△18	△18
<b>資 産 合 計</b>	187,449	210,295	203,678

科 目	前第1四半期 平成18年5月31日現在	当第1四半期 平成19年5月31日現在	前事業年度の 要約貸借対照表 平成19年2月28日現在
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)
<b>( 負 債 の 部 )</b>			
<b>I 流 動 負 債</b>	63,426	86,991	75,017
買 掛 金	10,750	10,323	6,983
短 期 借 入 金	3,000	7,500	7,500
1年以内返済予定 長 期 借 入 金	31,804	29,454	31,378
1年以内償還予定社債	560	10,200	5,400
コマーシャルペーパー	13,000	25,000	18,400
未 払 金	1,648	1,346	2,363
未 払 法 人 税 等	791	1,260	1,172
賞 与 引 当 金	271	263	159
ポ イ ン ト 引 当 金	366	450	480
債務保証損失引当金	415	545	462
利息返還損失引当金	250	—	—
そ の 他	569	647	719
<b>II 固 定 負 債</b>	73,294	73,464	79,246
社 債	20,600	17,400	22,500
長 期 借 入 金	52,462	54,020	54,834
退職給付引当金	232	222	221
利息返還損失引当金	—	1,822	1,691
<b>負 債 合 計</b>	136,720	160,456	154,264
<b>( 純 資 産 の 部 )</b>			
<b>I 株 主 資 本</b>	50,613	50,042	49,625
資 本 金	11,268	11,268	11,268
資 本 剰 余 金	12,730	12,730	12,730
利 益 剰 余 金	27,495	27,342	26,925
自 己 株 式	△881	△1,299	△1,299
<b>II 評 価 ・ 換 算 差 額 等</b>	115	△203	△211
その他有価証券評価差額金	115	△203	△211
<b>純 資 産 合 計</b>	50,728	49,839	49,414
<b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b>	187,449	210,295	203,678

2. (要約)四半期損益計算書

科 目	前第1四半期 自平成18年3月1日 至平成18年5月31日	当第1四半期 自平成19年3月1日 至平成19年5月31日	前事業年度の 要約損益計算書 自平成18年3月1日 至平成19年2月28日
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)
<b>I 営業収益</b>	9,471	10,105	38,829
割賦購入あっせん収益	1,097	1,359	4,824
融 資 収 益	7,746	8,091	31,575
融 資 代 行 手 数 料	54	31	166
そ の 他 の 収 益	572	623	2,263
<b>II 営業費用</b>	7,168	8,524	32,446
販売費及び一般管理費	6,685	7,846	30,209
金 融 費 用	482	677	2,236
<b>営業利益</b>	2,302	1,581	6,383
<b>III 営業外収益</b>	1	1	16
<b>IV 営業外費用</b>	4	6	22
<b>経常利益</b>	2,299	1,576	6,377
<b>V 特別利益</b>	0	—	210
<b>VI 特別損失</b>	44	6	4,371
税引前四半期(当期)純利益	2,255	1,570	2,216
法人税、住民税及び事業税	940	649	968
<b>四半期(当期)純利益</b>	1,314	920	1,248

(注) 法人税、住民税及び事業税」には、「法人税等調整額」を含めて表示しております。

3. (要約)四半期キャッシュ・フロー計算書

区分	前第1四半期 自平成18年3月1日 至平成18年5月31日	当第1四半期 自平成19年3月1日 至平成19年5月31日	前事業年度の要約キャッ シュ・フロー計算書 自平成18年3月1日 至平成19年2月28日
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
<b>I. 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税引前四半期(当期)純利益	2,255	1,570	2,216
減価償却費	165	254	803
割賦売掛金の減少額(△増加額)	△4,068	△4,834	△8,496
営業貸付金の減少額(△増加額)	△7,892	△1,600	△17,512
仕入債務の増加額(△減少額)	1,064	3,339	△2,702
その他	△1,116	625	7,714
小計	△9,592	△645	△17,977
法人税等の支払額	△2,418	△1,161	△4,160
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△12,010</b>	<b>△1,807</b>	<b>△22,137</b>
<b>II. 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
無形固定資産の取得による支出	△41	△705	△2,397
その他	△174	2	207
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△216</b>	<b>△702</b>	<b>△2,190</b>
<b>III. 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
コマーシャルペーパーの純増加額 (△純減少額)	9,000	6,600	14,400
短期借入金の純増加額(△純減少額)	△1,000	—	3,500
長期借入れによる収入	13,940	7,892	39,670
長期借入金の返済による支出	△10,378	△10,629	△34,163
社債の発行による収入	—	—	6,960
社債の償還による支出	△260	△300	△520
配当金の支払額	△512	△503	△1,015
自己株式の売却による収入	0	—	0
自己株式の取得による支出	△874	0	△1,292
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>9,914</b>	<b>3,059</b>	<b>27,540</b>
<b>IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>△2</b>
<b>V. 現金及び現金同等物の増加額(△減少額)</b>	<b>△2,311</b>	<b>549</b>	<b>3,209</b>
<b>VI. 現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>12,067</b>	<b>15,277</b>	<b>12,067</b>
<b>VII. 現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高</b>	<b>9,755</b>	<b>15,826</b>	<b>15,277</b>



#### 4. 営業実績

項目 \ 期別	前第1四半期	当第1四半期	前事業年度
取扱高 (百万円)	90,442	90,698	363,454
割賦購入あっせん	48,933	57,267	211,859
融          資	35,662	29,696	133,016
融 資 代 行	4,836	2,787	14,604
そ の 他	1,009	946	3,974
営業収益 (百万円)	9,471	10,105	38,829
割賦購入あっせん	1,097	1,359	4,824
融          資	7,746	8,091	31,575
融 資 代 行	54	31	166
そ の 他	572	623	2,263
残          高 (百万円)	178,189	191,310	186,202
割賦購入あっせん (A)	41,643	50,905	46,071
融          資 (B)	135,953	140,009	139,790
融 資 代 行	592	395	340
貸倒関連費用 (百万円) (C)	1,934	2,525	9,293
同営業債権残高比率 (%) ( C / (A+B) )	4.36	5.29	5.00
有効会員数 (千人)	3,966	4,054	4,025
C D 機 台 数 (台)	131,197	141,123	140,724
自          社	84	82	82
提          携	131,113	141,041	140,642

(注) 1 残高は、債権流動化によりオフバランスとなった営業貸付金 (平成19年5月31日現在3,240百万円、平成18年5月31日現在10,602百万円、平成19年2月28日現在4,567百万円) を含めた金額で表示しております。

2 貸倒関連費用営業債権残高比率は、年率換算後の数値であります。